



11月 園だより 3号

認定こども園かおり幼稚園

2023年10月20日



「たかがペットボトルキャップ、されどペットボトルキャップ」

私は、コロナ禍前からペットボトルキャップをせっせと集めては、子どもの学校や北広島駅においてあったペットボトルキャップを集める筒や札幌の大丸藤井の大きなパンダなどに入れていました。世界中の病気の子どもたちのワクチンに変えてもらえるのならという思いで収集癖が抜けず、コロナ禍になっても集めていました。ペットボトルキャップ400個で10円になり、ワクチン一つにかかる費用が20円。800個で一人の子どもの命が救えるのです。しかしながら、その間にペットボトルキャップを集めるころはあれよあれよという間に減っていき、「うちの会社はまだやっているよ」と知り合いの務める建設会社にやっと渡せたときは「世の中まだ捨てたものではないな」と感動したのも1年前。とうとう、その会社でも集めなくなったと聞き、身近なところでもって行き先を残念ながら失ってしまいました。

私は、教材として園にキャップたちを持ってきてみました。新しいものに目がない子どもたちは、早速ペットボトルキャップを試しています。回したり、はじいたり、いかに遠くまで飛ばせるかを競ったりと実験に大忙しです。容器にあんなにたくさん入れたはずなのに、いつの間にかお気に入りのをリュックやお道具箱にキープする子どもたちがちらりほらり。瞬く間にキャップの数が減っていきました。昔（私の少し前の世代）は瓶ビールの蓋を王冠と呼んでいて集めたり遊んだりしていたようなので、子どもたちの遊びの宝物は今も昔もそれほど変わらないのかもしれませんが。それにしても、興味を持った事はとことん追求する労力と手間を惜しまない子どもたちにまず感心します。実に遊びを深めているのです。

ペットボトルキャップで私が思い出す人物がいます。それは、今から11年前のブラジルのリオデジャネイロで環境問題についての国際会議での演説で有名な当時のウルグアイのムヒカ大統領です。ムヒカ大統領の演説は、『世界で一番貧しい大統領のスピーチ』という絵本にもなるほど世界中に感銘を与えました。ムヒカ大統領は、自分の給与の7割を毎月寄付に回していました。そして、自分を選んでくれた大多数の人と同じ暮らしをするべきだと考え、中古車に乗り、農場に住んでいました。彼は演説の中で多くの考えさせられる言葉を残しています。「貧乏とは、少ししかもっていないことではなく、無限に欲があり、いくらあっても満足しないことです。発展とは、人間の幸せの味方でなくてはならないのです。人と人が幸せな関係を結ぶこと、子どもを育てること、友人を持つこと、地球上に愛があること、こうしたものは、人間が生きるためにぎりぎり必要な土台です。なぜなら、幸せこそが最も大切な宝だからです。人類が幸福であってこそ、よりよい生活ができるのです。私たちがよりよい生活をするために戦うとき、これを覚えておかなければなりません。」そんな演説に会場からは割れんばかりの拍手が起こり、世界中へと広められたのです。ところで、なぜペットボトルキャップでムヒカ大統領を思い出すかといいますと、ムヒカ大統領が住んでる農場にペットボトルキャップで根気よく作った揺れるベンチがおいてあるからです。言葉だけではなく、生活の中で環境問題に取り組み実践した大統領がいたことを覚え、小さなペットボトルキャップを粗末にせず、役に立つものに変えていく（自分の遊びから得る学びも含まれます）。そのように物事を深める人間がたくさん育って行くときにより幸せな未来がえがけるとおもいます。



園長 加藤真希子

2023年度主題	ともにつむぎだす～希望の中で～
2023年度 主題聖句	キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。 エフェソの信徒への手紙 2章17節
11月の主題	0歳児 みつける 1.2歳児 どれがいい
11月聖句	地はお造りになったものに満ちている 詩編104篇24節



子ども達の様子

つぼみ組は給食の時に自分でスプーンを持ってご飯をすくったり、フォークでお肉をチクンと刺して、口に運んで食べられるようになってきました。友達がいろいろ出来るようになって「すごいね。じょうずだね！」と保育士に褒められているのを見て、他のお友達もやってみたくなっています。できるとたくさん褒めてもらって、みんな嬉しそうです。褒められたお友達の頭をナデナデしたり、自分が褒められると自分の頭をナデナデしていて、とても可愛いです♪

ふたば組はお散歩の時、全員お友達や保育士と手をつないで、上手に歩けるようになってきました。食欲も旺盛でお替りする子もいます。カレーライスやうどんが特に大好きです。魚のメニューの時、魚をご飯に混ぜて「おさかなごはん」にして食べるのも好きです。園のリズムにすっかり慣れ、たくさん遊んで、よく給食を食べて、入眠も早く、ぐっすり眠っています。製作も大好きで、自由遊びの時に一人ずつ個別にしています。自分の順番を楽しみに待っている子が多く、最近絵の具や手形やタンポの製作をしました。

わかば組は公園に行って栗やどんぐりなど秋の自然に触れています。落ち葉を拾ったり、豆リンゴを拾ったりしています。自分で見つけたり、発見したものを、園の図鑑や絵本を見て「みたやつだー」と喜んでいきます。夏の間、飼育観察していた「クワガタ」は、虫が苦手な子も触れるようになり、毎日ケースを覗いてはゼリーを入れたり、お世話していました。ある朝、動かなくなって、子どもたちはジッと見て「しんじやったね。てんごくにいったんだよ」「ばいばい」といい、みんなでお墓を作ることにしました。命の大切さを感じる時でした。



3学期からバス利用の方は
11月6日(月)までにご連絡ください。
登降園でのバス利用は
わかば組から利用できます。

内科検診の
お知らせ

11月2日(木) 10時～

11月生まれのおともだち

11月生まれのお友だちは
いませんでした



衣替え

着替えの衣替えをお願いします。

・長袖・長ズボン・半袖シャツ・靴下

すべてに名前を書いてください。

文字が薄くなった場合は書き直してください

